

1 B

英語（浅沼）

休問題演習を重ねながら、テストで得点することを意識した指導を行なっています。単語テストだけでなく、単元ごとの範囲に限定されない混合問題をテスト形式で解き、点数化しています。「見たことがあるからなんとなく」では正答が難しいため、「わからない」と止まって考える習慣をつけられると期待しています。テストが多いとの訴えもありますが、英語も「わかるとおもしろい」という感覚を少しずつ味わって、積極的に取り組んでくれています。今後も、語彙を増やすと同時に、文法の基本的な枠組みを理解して、「なんとなく」から、自信を持って正答できるようにしていねいに学習を進めていきたいと思います。中1の範囲では、S（主語）V（動詞）を意識できるようになることが重要であり目標です。

数学（佐竹）

すばらしいことに、多くの生徒が「解ければいい」ではなく「どう解くか」を意識して問題に取り組んでくれています。生徒たちがお互いに解法を共有し、刺激しあっています。先生から生徒への一方通行ではなく、生徒同士で活発に発見を促しあえる環境になっていると思います。

しかしその代わり私語も多く、難しい問題だと答えが出るまで集中できない人もいます。もう少し冷静に問題に取り組む姿勢なようです。

Zoom 授業で扱った範囲の理解度にかかなり個人差が出てきています。ただその範囲は基本の計算問題がほとんどであり、見ている限り、分配法則や通分など一つ一つのポイントはほぼ理解できています。複数のポイントがある問題で混乱してしまう、または単にミスが多いのどちらかなので、今一度新中間を丁寧に見返し、練習問題に取り組めばカバーできるはずですので、ご自宅での復習をお願いします。

国語（中本）

【授業の雰囲気】

夜の時間帯での塾の授業にまだ不慣れな状況で、時折放心状態になっている姿が見られますが、仕方ない部分もあり、そこについては徐々に慣れていくものなので心配していません。

ただ、授業で意見が活発に出るかという点とそうでもなく、少し不安でも積極的に発言が出てくるとより教室全体を巻き込んだより効果的な授業を展開することが出来るようになるので、ぜひ前向きな授業への参加をお願いしたいところです。

国語という科目は言葉を大切に作る科目です。まず、自分の考えを相手に伝えるということから逃げずに、言葉を紡ぐ練習を少しずつしていければと思っています。

国語の力としてはポテンシャルが非常に高いメンバーが揃っていますので、根拠をもった論理的思考と、発想や独創を大切にしながら文学的思考の両面から伸ばしていけるように、授業を構築していこうと思っています。

【進度・ペース】

4月・5月のzoom授業では、学校の教科書単元を塾で扱うという試みをしていました。学校の授業で深く読む余裕がなさそうである点、日頃塾で扱っているプリントによる授業の実施が難しい点から、そのような形を取りました。今後の学校の授業に生きてくると思われますし、私自身にも良い経験となりました。そのため、例年とは違う形で進んでいます。もとより「教えたこと」はありますが、「教えるもの」が決まっているわけではありません。「こと」に関しては、順調に授業を進められているように感じています。

通塾再開後から「物語を書く」という試みを重点的に行なっています。これは、表現力の強化と物語の構成についての意識を高めること、言葉の持つ力について理解を深めることが狙いです。

新中学問題集については、授業での使用予定は今後ありません。各自家庭学習用としてご使用いただいで結構です。